

「いよっ」と 空へ

「こののぼりを作るのは、八日市町の人形専門店キタセの北川昇三社長(79)。幼少期から絵が好きだった北川社長は小松高美術部時代に腕を磨いた。人形店の2代目となってからは商品の絵馬などを手掛けているほ

色塗りが完了した。
こいのぼりには、
空で両手を広げていて
ストを描き、胸には
「」の文字を入れた
カブツキーは、3

いのぼり、市章を入れた吹き流しとともに5月2日から約1ヶ月間、吉城公園の大藤棚のそばに飾られる。市制80周年を記念して開かれる「藤見の会」のオープニングでお披露目される。毎年、端午の節句に合わせて掲げ予定だ。

この本は、ご購入の書店にて販売されています。

は31日、小杜で確認され、本作りに乘じて、敷地内「真。察館」に展示に身近なもの。

来月、芦城公園でお披露目

小松市制80周年 こいのぼりを特注

5月5日の端午の節句に合わせ、小松市中心部に市イメージキャラクター「カブツギー」をかだうといのぼりが掲げられる。今年の市制80周年を祝おうと市が地元人形店に制作を依頼した。同店の社長が自ら筆を執り、子どもたちの健やかな成長を願いながら生地に愛らしいイラストを描き進めている。

いのほり、市章を入れた吹き流しとともに5月2日から約1ヶ月間、芦城公園の大藤棚のそばに飾られる。

卷之三

本作りに垂
真。敷地内
察館」に展
ちに身近な
もうう。
同会は2。
少なチョウ。

A group of people, including children and adults, are gathered around a large, colorful playground structure. The structure features a blue slide, a red climbing frame, and a blue tunnel. In the background, there are several small buildings with blue roofs, possibly part of a school or community center. The sky is clear and blue.

かえり祭り 美川和波町の会 日、約9ヶ月間に
お披露目された川写真。県伝統工芸品である美川仏
の粹を結集した豪華絢爛な姿に、住民は祭りを心待ちに
した。現在の台車は1930年(昭和5年)に作られたもので、
その後、大火で焼失したとされる。

北村工務店(美川和波町)の北村鏡代表(55)が車輪の木材を加工し、北島仏壇製作所(美川新町)の4代目後嗣北島昭彦さん(55)が塗装が協力して造設したが、年に解体修復して以降は大掛かりな改修は行わず、老朽化が進んでいた。

を施した。車輪には、而久性の高い地松を使い、色あせを防ぐため漆を4度塗った。胴体部分の欄干の漆も、塗り直し、金具も修理した。おかげで祭りは藤塚神社の春祭り大祭、美川和波町東区長の笠原幸治さん(左)は「立派な古車になった」と話した。



マスクインナーを寄付

は31日、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として市販のマスクの販売を開始。市職員が700セットを購入した。市職員がマスクインナーマスクを内光でウイルスを低減する光触媒を使用したウイルス

井出市長(右)にマスクインナーを手渡す
小松マテーの松尾常務 二能美市役所

小松マテーレが能美
付 700セット、光触媒